DAIKIN

工務店・設計事務所の方向け
Webプログラム対策

ZEH基準達成に向けた空調機器は

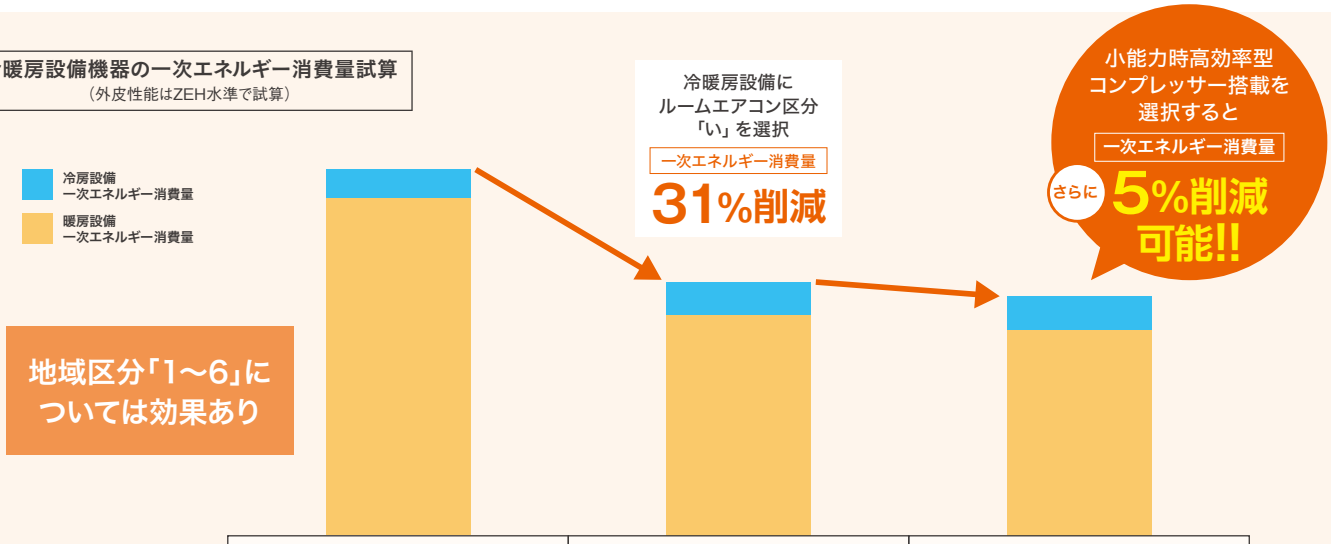
ダイキン ルームエアコンが オススメ!!

特に寒冷地にオススメ!

ZEH基準達成に向けて、小能力時高効率型コンプレッサー搭載の ダイキン ルームエアコンを是非、ご活用ください。

小能力時高効率型コンプレッサー搭載の機種は裏面の表をご確認ください

冷暖房設備機器の一次エネルギー消費量試算
（外皮性能はZEH水準で試算）



地域区分「1～6」については効果あり

	基準一次	設計一次区分「い」	設計一次区分「い」搭載
冷暖房設備 一次エネルギー消費量合計	31,269	21,594	20,592

Webプログラム上の計算結果であり、実使用時とは省エネ効果に差がございます。

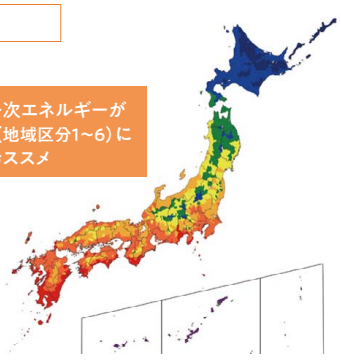
計算基準:地域区分「4」地域(仙台市、長野市、秋田市など)。外皮平均熱還流率0.6W/m2K戸建住宅、その他基準はWebプロ(Ver3.3.0)の基準値を利用にて試算。詳細は各種条件をご確認ください。

暖房設備一次エネルギーの削減効果が大きいため、
暖房エネルギーの構成が大きい地域区分「1～6」を中心にご活用ください。

地域区分MAP

1 地域
2 地域
3 地域
4 地域
5 地域
6 地域
7 地域
8 地域

特に暖房一次エネルギーが大きい地域(地域区分1～6)におススメ



ポイントはダイキン独自※1のスイングコンプレッサー

なめらかに動き、振動・摩耗が少ない構造を採用。
冷媒ガスの圧縮ロスが少なく、高効率運転を実現。

高効率 | 低振動&低騒音 | 高耐久

※1. 家庭用エアコンにおいて当社独自の方式を採用。

スイング式

運転ロス／摩耗が少ない
一体構造

最終的な判断は、必ず評価機関にお問い合わせください

小能力時高効率型コンプレッサー搭載ルームエアコンディショナーの定義とは

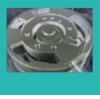
平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)現行版
第四章 第三節付録B、付録Dに記載してます。

判別(1) 小能力運転において、効率向上効果が認められる方式を搭載し、小能力の連続運転……等。

▶ ダイキンのスイングコンプレッサーが認められています！

判別(2) JISC9612:2013
冷房及び暖房の最小能力が定格能力の10分の1未満である。

エネルギー消費性能計算プログラムで、小能力高効率コンプレッサー搭載を選択することができます。※



冷房定格エネルギー消費効率（冷房COP）と区分　「RX」「AX」「DX」「GX」すべて区分(い)達成。ZEH住宅におすすめ！

シリーズ	機種名	区分	定格エネルギー消費効率(冷房時)	定格冷房能力(kW)	小能力高効率コンプレッサー搭載※
RXシリーズ［2025年モデル］	S225ATRS	い	5.64	2.2	−
	S255ATRS	い	5.32	2.5	−
	S285ATRS	い	5.09	2.8	−
	S365ATRS	い	4.50	3.6	−
	S405ATRS	い	4.15	4.0	−
	S405ATRP	い	5.00	4.0	−
	S405ATRV	い	5.00	4.0	−
	S565ATRP	い	3.73	5.6	○
	S565ATRV	い	3.73	5.6	○
	S635ATRP	い	3.60	6.3	○
	S635ATRV	い	3.60	6.3	○
	S715ATRP	い	3.21	7.1	○
	S715ATRV	い	3.21	7.1	○
	S805ATRP	い	2.75	8.0	○
	S805ATRV	い	2.75	8.0	○
	S905ATRP	い	3.01	9.0	○
	S905ATRV	い	3.01	9.0	○
AXシリーズ［2025年モデル］	S225ATAS	い	5.64	2.2	−
	S255ATAS	い	5.32	2.5	−
	S285ATAS	い	5.09	2.8	−
	S365ATAS	い	4.50	3.6	−
	S405ATAS	い	4.15	4.0	−
	S405ATAP	い	5.00	4.0	−
	S405ATAV	い	5.00	4.0	−
	S565ATAP	い	3.73	5.6	○
	S565ATAV	い	3.73	5.6	○
	S635ATAP	い	3.60	6.3	○
	S635ATAV	い	3.60	6.3	○
	S715ATAP	い	3.21	7.1	○
	S715ATAV	い	3.21	7.1	○
	S805ATAP	い	2.75	8.0	○
	S805ATAV	い	2.75	8.0	○
	S905ATAP	い	3.01	9.0	○
	S905ATAV	い	3.01	9.0	○
DXシリーズ［2025年モデル］	S255ATDS	い	5.26	2.5	−
	S285ATDP	い	5.33	2.8	−
	S285ATDV	い	5.33	2.8	−
	S405ATDP	い	5.13	4.0	−
	S405ATDV	い	5.13	4.0	−
	S565ATDP	い	3.78	5.6	○
	S565ATDV	い	3.78	5.6	○
	S635ATDP	い	3.60	6.3	○
	S635ATDV	い	3.60	6.3	○
	S715ATDP	い	3.14	7.1	○
	S715ATDV	い	3.14	7.1	○
	S805ATDP	い	2.74	8.0	○
	S805ATDV	い	2.74	8.0	○
HXシリーズ［2025年モデル］	S225ATHS	ろ	4.89	2.2	−
	S255ATHS	ろ	4.63	2.5	−
	S285ATHP	ろ	4.59	2.8	−
	S405ATHP	ろ	3.88	4.0	−
	S565ATHP	ろ	3.06	5.6	−
KXシリーズ［2025年モデル］	S225ATKS	ろ	4.89	2.2	−
	S255ATKS	ろ	4.81	2.5	−
	S285ATKP	ろ	4.52	2.8	−

シリーズ	機種名	区分	定格エネルギー消費効率(冷房時)	定格冷房能力(kW)	小能力高効率コンプレッサー搭載※
MXシリーズ［2024年モデル］	S224ATMS	は	4.44	2.2	−
	S254ATMS	は	4.17	2.5	−
	S284ATMS	は	3.84	2.8	−
	S364ATMS	は	3.10	3.6	−
	S404ATMP	は	3.15	4.0	−
	S404ATMV	は	3.15	4.0	−
	S564ATMP	は	2.80	5.6	−
	S564ATMV	は	2.80	5.6	−
GXシリーズ［2024年モデル］	S224ATGS	い	5.18	2.2	−
	S254ATGS	い	5.00	2.5	−
	S284ATGS	い	4.83	2.8	−
	S364ATGS	い	4.36	3.6	−
	S404ATGP	い	4.15	4.0	−
	S404ATGV	い	4.15	4.0	−
	S564ATGP	い	3.26	5.6	−
	S564ATGV	い	3.26	5.6	−
	S634ATGP	い	2.92	6.3	○
	S634ATGV	い	2.92	6.3	○
	S714ATGP	い	2.42	7.1	○
	S714ATGV	い	2.42	7.1	○
CXシリーズ［2024年モデル］	S224ATCS	は	3.93	2.2	−
	S254ATCS	は	3.52	2.5	−
	S284ATCS	は	3.73	2.8	−
	S364ATCS	は	3.05	3.6	−
	S404ATCP	は	2.92	4.0	−
	S404ATCV	は	2.92	4.0	−
	S564ATCP	は	2.71	5.6	−
	S564ATCV	は	2.71	5.6	−
	S634ATCP	い	3.00	6.3	−
	S634ATCV	い	3.00	6.3	−
	S714ATCP	い	2.58	7.1	○
	S714ATCV	い	2.58	7.1	○
Eリーズ［2024年モデル］	S224ATES	は	3.79	2.2	−
	S254ATES	は	3.47	2.5	−
	S284ATES	は	3.59	2.8	−
	S284ATEV	は	3.59	2.8	−
	S364ATES	は	3.05	3.6	−
	S364ATEV	は	3.05	3.6	−
	S404ATEP	は	2.92	4.0	−
	S404ATEV	は	2.92	4.0	−
	S564ATEP	は	2.71	5.6	−
	S564ATEV	は	2.71	5.6	−
SXリーズ［2023年モデル］	S223ATSS	は	3.96	2.2	−
	S253ATSS	は	3.85	2.5	−
	S283ATSS	は	3.84	2.8	−
	S363ATSS	は	3.13	3.6	−
	S403ATSP	は	3.03	4.0	−
	S403ATSV	は	3.03	4.0	−
	S563ATSP	ろ	3.06	5.6	−
	S563ATSV	ろ	3.06	5.6	−
	S633ATSP	い	2.96	6.3	○
	S633ATSV	い	2.96	6.3	○
	S713ATSP	い	2.62	7.1	○
	S713ATSV	い	2.62	7.1	○
VXリーズ［2023年モデル］	S223ATVS	は	3.86	2.2	−
	S253ATVS	は	3.47	2.5	−
	S283ATVS	は	3.59	2.8	−
	S363ATVS	は	3.10	3.6	−
	S403ATVP	は	3.13	4.0	−
	S403ATVV	は	3.13	4.0	−
	S563ATVP	は	2.90	5.6	−
	S563ATVV	は	2.90	5.6	−

○エネルギー消費性能計算を実施するプログラムを活用する際、「小能力時高効率型コンプレッサー」搭載のダイキンルームエアコンを是非、ご活用ください。
※特に暖房設備一次エネルギーの削減効果が大きいため、暖房エネルギーの構成が大きい地域区分「1～6」を中心にご活用ください。
※条件によっては、プログラム入力「搭載する」の計算結果が『評価しない、または搭載しない』の計算結果を上回る場合があります。必ず『搭載する』と『評価しない、または搭載しない』の両方で計算を行って、効果があることを確認してください。
搭載している製品を『評価しない、または搭載しない』で計算することは問題ありません。

ダイキン工業株式会社 空調営業本部

本　　社　〒530-0001 大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
東京支社　〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー

お客様総合窓口 ダイキン コンタクトセンター
WEBから https://www.daikincc.com
お電話から 0120-881-081（全国共通フリーダイヤル）

SPR24235(24.10)SS